

「風呂敷」で包む日本文化

日本独特の文化に「風呂敷」がある。現代は便利なバッグや袋がいくらでも手に入るので、なかなか風呂敷の出番はない。しかし、いく通りもの使い道がある風呂敷の便利さや、物を丁寧に包むという所作が生み出す雅な美しさは、簡単には捨てがたいものがある。

石井さんのドラマには、この風呂敷がときどき出てくる。出演者に風呂敷を使ってもらうシーンでは、風呂敷の包み方を知らない若手のディレクターに「見ておきなさい」とイチから風呂敷の扱い方を教える。

核家族化が進み、伝統的な日本文化を伝える時間や場所が少なくなった。石井さんは、「家族で囲む食卓は、こうした文化を伝える大切な場所でもあるのです」と語る。